

南仏治安情報（2012年2月）

■プロヴァンス地方

1. 銃を使用した殺人事件の増加

当地方では2月中、7件もの銃を使用した殺人事件が発生しました。犯人は猟銃や短機関銃で武装しており、グループ間抗争で死傷者が出た他、中には目撃者や近くを通った通行人が流れ弾に当たり負傷する事件もありました。私たちの想像以上に銃は流通しており、素行不良者等が入手しやすい状況にありますので、夜間の外出や治安の悪い地域では十分にご注意ください。

2. 携帯電話を狙ったひったくりへの対策

携帯電話を狙ったひったくりは後を絶たず、マルセイユ市でも2011年の発生件数が前年比8%増加しました。これを受け内務省から盗難後の被害を最小に食い止める対策が出されました。各携帯電話に付されている固有のIMEI番号を警察に通報すると、遠隔操作でフランス国内での使用が不可能になります。IMEI番号は購入時の箱に明記されている他、#06#をかけることで入手できます。その他防犯対策などについても確認をしておくことをお勧めします（www.mobilevole-mobilebloque.fr）。

3. マルセイユ～エクス間の在来線（TER）の治安について

マルセイユとエクサンプロヴァンス間を結ぶ在来線は、治安の悪いマルセイユ北部地域を通ることから、車内や駅構内で恐喝や麻薬取引などの犯罪が多く発生しています。当路線では2011年に約500件の警察の出動があり、職員や乗客からも防犯対策が強く求められてきました。これを受け70台の監視カメラの増強、エクス駅構内の改装工事が予定されています。

4. マフラーを使った子供間の危険な遊びに注意を

マフラーで首を絞め故意に呼吸を止める「Jeu du foulard」という危険な遊びが、フランスの一部子供の間で行われており問題になっています。2月下旬にはマルセイユ市6区の公園で12歳の少年がこの遊びに参加し、気絶後入院する事故が発生しました。少年は幸い一命を取り留めましたが、同様の事故で死亡した子供もおり、保護者や周りの大人の十分な注意が必要とされています。

■コートダジュール地方・コルシカ島

1. 二輪車の窃盗事件が頻発

先月もお知らせしましたがアルプ・マリタイム県では二輪車を狙った窃盗が頻発しており、2011年には2200台以上の二輪車、一日平均6台が被害に遭いました。保険会社は盗難保険の加入の他、NF規格認定の盗難防止チェーンの使用を勧めています。犯行は駐輪場からライトバンで盗み出す他、信号停車中に武器を用いて脅し盗る凶悪な手口もありました。

2. 麻薬取引グループを逮捕

2月に入りアルプ・マリタイム県では税関および警察により、ニース市旧市街でカナビス売買者7名、高速道路A8上でカナビス350kgを輸送中の男1名、ニースとヴァール県間でカナビ

スや武器の取引をしていたグループ構成員 10 数名、同じくカナビス取引に関与した 9 名をカーニュ市で逮捕しました。

3. 2月26日の地震について

2月26日23時37分 Alpes-de-Hautes-Provence 県 Brcelonnette を震源に、マグニチュード 4.7 の地震が起きました。当地方では 1959 年以来最も強い地震となり、広範囲の住民が体感しましたが幸い怪我人などは出ませんでした。アルプス山脈とリグリア海、アドリア海プレートが重なる当地方では、小規模にせよ今後も地震活動および津波が起こる可能性があります。

4. インフルエンザの流行にご注意

2月下旬に入りプロヴァンス・コートダジュール地方でもインフルエンザの流行が確認され、10万人あたり546人と全国でも3番目に発症例が多く見られました。今年はインフルエンザ A 型と B 型が流行しており、特に危険な症例ではないにせよ年齢性別に関わらず罹る恐れがあるため、手洗いや消毒、キウイやレモンなどビタミンの摂取が奨励されています。

■ミディ・ピレネー地方

1. 空き巣を繰り返していたジプシーの犯行グループを逮捕

当地方では空き巣被害が相次いでいますが、2月上旬に Ginestous や Mounede、Cugnaux のジプシーが居住するキャンプ場で憲兵による一斉捜索があり、20~35歳の男9名が逮捕されました。このグループは2001年12月以降発生した25件の空き巣被害への関与が疑われており、今後の取調べで手口などが明らかになる予定です。

2. ミディ地方での火災事故

モンペリエ市を中心としたミディ地方では、2月に入り火災事故が通常より多く発生しました。2月中旬に到来した寒波の際に暖房をつけようとしてガスボンベに引火したり、暖炉の火の不始末や煙突などの手入れ不足による火事などが目立ちました。

3. 窃盗被害に遭いやすい車種の傾向

某車情報誌によると、2011年に窃盗の被害に遭った車両は Renault Twingo1 が最も多いことが明らかになりました。自動車保険会社や任意保険、銀行などの統計によると、Twingo1 に次いで Smart Fortwo、BMW X6、Renault Megane2、Porsche Cayenne が被害に遭いやすく、特に Twingo は今年だけではなく過去5年に亘り最も窃盗被害に逢っています。ご注意ください。

4. カード詐欺に改めて注意を

当地方では今年に入りカード詐欺が多発しています。2月にはトゥールーズ市で女性がカードによる支払い中にカード情報を盗まれ、その後インターネット決済などで46回、計3600ユーロが知らない内に口座から引き落とされる被害がありました。他にも現金引出機に小型カメラが仕込まれていたケースも多く、カード自体が盗まれるわけではないため被害に気付くのが遅れた結果被害額が大きくなりやすいことが特徴です。暗証番号の入力時には機械に不審な点はないか、周りから見られていないか十分にご注意ください。